



東生駒病院 リハビリテーション科

言語聴覚療法のご紹介

言語聴覚療法とは病気や怪我、発達上の問題において、ことばによるコミュニケーションや摂食・嚥下に問題がある方に問題の本質や発音メカニズムを明らかにし、必要に応じた練習、指導、助言、その他の援助を行うことです。

(日本言語聴覚士協会ホームページより抜粋)

言語聴覚士は、自分の思いを相手に伝えるために、話したり書いたりする練習や、誤嚥を防ぎ、安全に食べられるように練習するなど、自分らしい生活を構築し、生活の質を高める為に患者様やご家族を支援します。

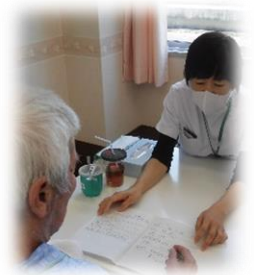


失語症や構音機能などコミュニケーションの練習

失語症とは、それまで不自由なく使っていた言葉が聞いて理解できない、言葉として思い出せずうまく伝えられないなどの言葉の障害の事をいいます。

高次脳機能、認知機能改善に向けた練習

高次脳機能障害とは、物を覚える、注意を払う、気持ちをコントロールする、目的をもって物事を遂行する、などがうまく行えなくなってしまう状態です。



摂食・嚥下機能改善に向けた練習



摂食・嚥下障害とは、口から食べる機能の障害のことです。私たちは普段、意識はしていませんが、食べ物を目やにおいで認識し、口まで運び、口の中に入れて噛み、ゴックンと飲み込むことで、食物や液体を摂取しています。この一連の働きが機能しなくなったことを言います。



機器を取り入れたリハビリテーション



舌圧測定器

舌の筋力を簡単に測れる機器です。得られた測定値は摂食・嚥下機能や、コミュニケーションに重要な構音機能の指標となります。



自分らしく生きる為に・・・

退院後の仕事復帰や在宅生活に向け、家族指導に取り組んでいます。不安材料を少しでも減らし、安全に、かつ自分らしく生きてもらえるために、自主練習や注意する点などをご本人やご家族に分かりやすく伝えさせていただきます。